

内容検索表

上の虫メガネをクリックすると右上に、キーワードの記入枠が出ますので、そこにキーワードを入れて、ENTERを押すと、目的の場所に飛びます。

テーマ番号	テーマ	単元	テーマ
1	脳梗塞と治療薬	脳梗塞と治療薬 第1回	・脳卒中とは ・脳卒中の疫学・脳について ・脳梗塞とは
		脳梗塞と治療薬 第2回	・脳卒中の状況 ・脳卒中・脳梗塞の臨床症状 ・脳梗塞の危険因子
		脳梗塞と治療薬 第3回	・脳梗塞の診断治療・脳梗塞の治療薬
		脳梗塞と治療薬 第4回	・ラジカット(一般名:エダラボン) ・アクチバシン(一般名:アルテプラゼ) ・グルトバ(一般名:アルテプラゼ)
		脳梗塞と治療薬 第5回	・オキリコン注(一般名:オザグレル) ・キサンボンS注(一般名:オザグレル) ・カタクロット注(一般名:オザグレル) ・ノバスタンH注(一般名:アルガトロバン)
		脳梗塞と治療薬 第6回	・超急性期の呼吸循環代謝管理・脳浮腫管理 ・急性期治療・脳梗塞慢性期の治療 ・高血圧の管理・リハビリ ・頸動脈超音波検査
		脳梗塞と治療薬 第7回	・クモ膜下出血の概要 ・クモ膜下出血の症状 ・クモ膜下出血の原因 ・クモ膜下出血の診断 ・クモ膜下出血の治療 ・クモ膜下出血の発症後の脳梗塞抑制薬 ...ビグラツツ(クラロセンタン) の作用機序 ・血管内コイル塞栓術・顕微鏡下クリッピング術
2	悪性神経腫と治療薬	悪性神経腫と治療薬	・悪性神経腫(グリオーマ)とは何か ・脳腫瘍 ・デリタクト(一般名:テセルバツレブ)
3	パーキンソン病と治療薬	パーキンソン病と治療薬 第1回	・パーキンソン病とは何か・疫学・症状・原因・特徴・検査・診断・定義 ・パーキンソン病の治療
		パーキンソン病と治療薬 第2回	・L-DOPA ・ドパミン受容体アゴニスト ・抗コリン薬 ・モノアミン酸化酵素B(MAO-B)阻害薬 ・ドパミン合成促進薬
		パーキンソン病と治療薬 第3回	・COMT阻害薬...エンタカポン(商品名:コムタン) ・COMT阻害薬 オンジェンティス錠・オンジェンティス錠 ・ドパ脱炭酸酵素阻害薬 (DDC阻害薬) ・アデノシンA2A受容体拮抗薬(ノウリアスト)
		パーキンソン病と治療薬 第4回	・モノアミン酸化酵素B(MAO-B)阻害薬(アジレクト錠) ・メネシット、ネオドパストン(レボドパ、カルビドパ配合錠) ・デュオドーパ ・ビタミンD3
		パーキンソン病と治療薬 第5回	・トレリーフ(一般名:ソニサミド)・ ヴィアレブ配合持続皮下注 (ホスレボドパ/ホスカルビドパ)
		パーキンソン病と治療薬 第6回	・ピシフロール(一般名:プラミベキソール)・レキップ(一般名:ロピニロー ル) ・ハルロピテプ(一般名:ロピニロール) ・ニュープロパッチ(一般名:ロチゴチン) ・エクフィナ(一般名:サフィナミド) ・エフビーOD錠(一般名:セレギリン)
4	てんかんと治療薬	てんかんと治療薬 第1回	・てんかんとは? ・てんかんの年代別発症率 ・てんかんの原因はなに? ・てんかん発作の起こる仕組み ・発作の起こる部位による症状の発現 ・発作の起こる仕組み ・発作の起こる部位による症状の発現 ・てんかん発作の分類 ・てんかん重症状態 ・てんかんの種類
		てんかんと治療薬 第2回	・ピムパット(一般名:ラコサミド) ・イーケブラ(一般名:レベテラセタム) ・フィコンバ(一般名:ペランパネル) ・ロラピタ(一般名:ロラゼパム) ・プロラム口腔用液(一般名:ミダゾラム)
5	片頭痛と治療薬	片頭痛と治療薬 第1回	・片頭痛とは ・アイモビーグ ・アジョビ ・エムガルティ ・トリプタン製剤
		片頭痛と治療薬 第2回	・レイボー(一般名:ラスミジタン)
6	睡眠障害と治療薬	睡眠障害と治療薬 第1回	・睡眠とは何か ・睡眠障害の疫学 ・睡眠障害の種類

		睡眠障害と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> その他の睡眠障害・睡眠薬の使い分け・睡眠とは何か 睡眠障害の疫学・睡眠障害の種類・不眠症の定義 不眠症の治療薬 ベンゾジアゼピン系睡眠薬
		睡眠障害と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ベルソムラ(一般名:スボレキサント) デエビゴ(一般名:レンボレキサント)
7	ADHDと治療薬	ADHDと治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> インチュニブ(一般名:guanfacin) ピバンセ(一般名:リスデキサンフェタミン) ストラテラ(一般名:アトモキセチン)
		ADHDと治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> インチュニブ(一般名:guanfacin) ピバンセ(一般名:リスデキサンフェタミン) ストラテラ(一般名:アトモキセチン)
8	多発性硬化症と治療薬	多発性硬化症と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> グリア細胞について・多発性硬化症とは何か・多発性硬化症の原因・多発性硬化症の疫学・多発性硬化症の病態 多発性硬化症の病型分類
		多発性硬化症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 多発性硬化症・多発性硬化症の症状・多発性硬化症の検査・多発性硬化症の治療
		多発性硬化症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> イムセラ/ジレニア(一般名:フィンゴリモド) テクフィデラ(一般名:フマル酸ジメチル)
		多発性硬化症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> タイサプリ アボネックス コバキソン 世界市場は2割拡大へ
9	認知症と治療薬	認知症と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 認知症とは何か アルツハイマー病(アルツハイマー型認知症) レビー小体病(レビー小体型認知症) 長谷川式スケール(HDS-R) SPECT(脳血流シンチグラフィ)
		認知症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> アリセプト(一般名:ドネペジル) アデュカヌマブ デジタルソリューション
		認知症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> アルツハイマー型認知症とは?原因と症状 レケンビ(一般名:レカネマブ)
		認知症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> アルツハイマー病の新規治療薬レカネマブの作用機序の一端を解明 エーザイの「レケンビ」大型化期待の新薬、販売の立ち上がりは エーザイ「レケンビ」で収益構造一変…「30年度に売り上げ1兆円」の皮算用と「がん事業」の今後
10	うつ病と治療薬	うつ病と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> うつ病とは・うつ病と抑うつ気分・うつ病の種類・うつ病の疫学・原因 発症の要因・うつ病発症のしくみ(病態)
		うつ病と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> うつ病の症状・うつ病の診断・うつ病症状の進行・うつ病の経過 うつ病の治療法
		うつ病と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 抗うつ薬療法・三環系抗うつ薬・四環系抗うつ薬
		うつ病と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> SSRI (Selective Serotonin Reuptake Inhibitors)
		うつ病と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> SNRI (Serotonin & Norepinephrine Reuptake Inhibitors), DNRI, NaSSA (Noradrenergic and Specific Serotonergic Antidepressant)
		うつ病と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> レメロン・リフレックス(一般名:ミルタザピン)・トリンテリックス(一般名:ボルチオキセチン)・うつ病の治療法
11	統合失調症と治療薬	統合失調症と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症とは・患者数・統合失調症の症状・原因・発症の要因・統合失調症の病型・統合失調症の病期
		統合失調症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症の病型・統合失調症の病期・統合失調症の薬物治療・抗精神病薬のタイプと特徴・セロトニンとドパミンとノルアドレナリンの関係
		統合失調症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症の薬・セロトニン・ドパミン拮抗薬(SDA)・SDA系の作用機序(代表薬:リスパダール)・DSS(Dopamine System Stabilizer) エビリファイ
		統合失調症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> SDAM(Serotonin-Dopamine Activity Modulator)・・・レキササルティ錠・MARTA(Multi-Acting Receptor Target Antipsychotics)多受容体作用抗精神病薬・・・ジプレキサ・シクレスト舌下錠・ジプレキサ(オランザピン)抗がん剤に伴う悪心・嘔吐
12	緑内障と治療薬	緑内障と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 緑内障 緑内障種類 緑内障の原因 緑内障の検査
		緑内障と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> プロスタグランジンF2α誘導体制剤 エイベリス アイラミド配合点眼液(プリモニジン/プリンゾラミド) アイベータ配合点眼液(プリモニジン/チモロール) アイベータ配合点眼液(プリモニジン/チモロール)

		緑内障と治療薬 第3回	グラアルファ配合点眼液 (一般名:プリモニジン/リバスジル)
13	加齢黄斑変性症と治療薬	加齢黄斑変性症と治療薬 第1回	・加齢黄斑変性症とは何か・加齢黄斑変性症の発生機序・加齢黄斑変性症の疫学・加齢黄斑変性症の症状 ・加齢黄斑変性症の検査・加齢黄斑変性症の治療・光線力学的療法(PDT)・抗VEGF抗体(抗血管新生薬)療法 ・レーザー凝固療法・加齢黄斑変性症の予防
		加齢黄斑変性症と治療薬 第2回	・ルセンティス(一般名:ラニズマブ:Ranibizumab) ノバルティスファーマ・病的近視における脈絡膜新生血管 ・糖尿病網膜症と糖尿病黄斑浮腫・ルセンティスの臨床効果・アイリーア(一般名:アフリベルセプト:Aflibercept)バイエル薬品
		加齢黄斑変性症と治療薬 第3回	・マクジェン(一般名:ペガプタニブナトリウム:Pegaptanib Sodium) 製造販売:ファイザー 販売: ポシュロムジャパン・加齢黄斑変性症治療薬の市場動向・ベオピュ硝子体内注射用キット(一般名:プロルシズマブ)
		加齢黄斑変性症と治療薬 第4回	・加齢黄斑変性症治療薬の市場動向 ・ベオピュ硝子体内注射用キット(一般名:プロルシズマブ)
		加齢黄斑変性症と治療薬 第5回	・バビースモ(ファリシマブ)
14	アレルギー性鼻炎と治療薬	アレルギー性鼻炎と治療薬 第1回	・ピラノア・ルバフィン・デザレックス ・ザイザル・アレサガテープ ・シダキュアスギ花粉舌下錠
		アレルギー性鼻炎と治療薬 第2回	・ゾレア ・アレルギー性鼻炎の市場
15	副甲状腺機能亢進症と治療薬	副甲状腺機能亢進症と治療薬 第1回	・副甲状腺とは ・副甲状腺機能亢進症は3つ ・原発性副甲状腺機能亢進症とは ・副甲状腺機能亢進症の症状 ・副甲状腺機能亢進症の診断 ・副甲状腺機能亢進症の原因 ・検査 ・治療について ・二次性副甲状腺機能亢進症 ・腎機能低下と二次性副甲状腺機能亢進症の関係 ・二次性副甲状腺機能亢進症が体に与える影響 ・二次性副甲状腺機能亢進症の治療
		副甲状腺機能亢進症と治療薬 第2回	・オルケディア(一般名:エポカルセト) ・オルケディア(エポカルセト):レグバラ/パーサビブ/ウバシタとの違い ・パーサビブ(一般名:エテルカルセト) ・レグバラ(一般名:シナカルセト)
		副甲状腺機能亢進症と治療薬 第3回	ウバシタ
16	心不全と治療薬	心不全と治療薬 第1回	1.心不全の概要2心不全とは3.心不全の疫学と予後4.心不全の定義と分類5.心不全の病態生理6.心不全を来す基礎疾患 7.急性心不全
		心不全と治療薬 第2回	8.急性心不全の治療9.慢性心不全10.慢性心不全の診断11.慢性心不全の治療
		心不全と治療薬 第3回	12.心臓の構造と機能13. 心筋細胞と電気現象 その1
		心不全と治療薬 第4回	14. 心筋細胞と電気現象 その2 15.刺激電動系と心筋の特殊な性質
		心不全と治療薬 第5回	・エントレスト・サムスカ・ミネプロ
		心不全と治療薬 第6回	・コララン・フォシーガ・ベリキューボ(一般名:ペルイシグアト)
		心不全と治療薬 第7回	サルタス ジャディアンズ
17	不整脈と治療薬	不整脈と治療薬 第1回	・心臓の生理学 ・不整脈
		不整脈と治療薬 第2回	・心電図 ・心房細動 心房粗動
		不整脈と治療薬 第3回	・刺激電動 ・不整脈の分類と成因 ・心房細動 心房粗動・不整脈
		不整脈と治療薬 第4回	・心電図 ・薬物療法 ・Sicilian Gambit ・非薬物療法
18	肺がん治療薬	肺がん治療薬 第1回	・肺の構造・肺がんとは何か・肺がんの疫学・肺がんの原因 ・肺がんの症状
		肺がん治療薬 第2回	・肺がんの検査・遺伝子検査と肺がん治療・ROS1・ALK・EGF遺伝子変異・肺がんの病期ステージ・肺がんの治療

		肺がん治療薬 第3回	・肺がんの手術・肺がんの薬物治療・治療方針を決める因子
		肺がん治療薬 第4回	・分子標的治療薬 ・肺がんに対する抗がん剤の開発 ・分子標的治療薬 キナーゼ阻害薬 ・イレッサ(一般名:ゲフィチニブ) ・タルセバ(一般名:エルロチニブ)
		肺がん治療薬 第5回	・ジオトリフ(一般名:アフマチニブ) ・タグリソ(一般名:オシメルチニブ) ・EGFR-TKI 一次治療に相次ぎ新薬…それでも残るアンメットニース
		肺がん治療薬 第6回	・ALK阻害薬 ・ザーコリ(一般名:クリゾチニブ) ・アレセンサ(一般名:アレクチニブ) ・ジカディア(一般名:セリチニブ)
		肺がん治療薬 第7回	・ロープレナ(一般名:ロラチニブ) ・アルンプリグ(一般名:ブリガチニブ) ・ポートラーザ(一般名:ネシツムマブ) ・レットヴィモカプセル(一般名:セルベルカチニブ) ・免疫チェックポイント阻害薬 キイトルーダ(一般名:ペムブロリズマブ)
		肺がん治療薬 第8回	・ロスリートレク(一般名:エストレクチニブ) ・テブミトコ(一般名:テボチニブ) ・アルンプリグ(一般名:ブリガチニブ)
		肺がん治療薬 第9回	・ルマケラス(一般名:ソラシブ)KAS阻害薬ついに登場 ・イジユド(一般名:トレメリムマブ)
19	肺動脈高血圧症と治療薬	肺動脈高血圧症と治療薬	・心臓・肺の構造と働きについて ・肺高血圧症の病態と症状 ・肺動脈性肺高血圧症(PAH)とは ・レバチオ(シルデナフィル) ・エンドセリン受容体拮抗薬の作用機序と一覧・使い分け ・ウブトラビ(セレキシバク)
20	気管支喘息と治療薬	気管支喘息と治療薬 第1回	・喘息の定義・気管支喘息の病態生理・アトピー型喘息と非アトピー型喘息 ・気管支喘息の疫学・気管支喘息の診断
		気管支喘息と治療薬 第2回	・喘息の検査・スパイロメトリー・ピークフローメーター・喘息の管理
		気管支喘息と治療薬 第3回	・小児喘息・気管支喘息の治療薬・喘息発作時の治療
		気管支喘息と治療薬 第4回	・アドエア・シムピコート・抗コリン薬・ロイコトリエン受容体拮抗薬・テオフィリン徐放薬・ケミカルメディエーター遊離抑制薬・抗アレルギー薬・メチルキサン系薬物・抗IgE抗体・減感作療法・その他の治療
		気管支喘息と治療薬 第5回	・ソレア(一般名:オマリズマブ)・ファンセラ(一般名:ベンラリジマブ)・ヌーカラ(一般名:メボリズマブ)
		気管支喘息と治療薬 第6回	・デュピクセント(一般名:デュピルマブ) ・デュピクセント(一般名:デュピルマブ) ・アレルギーの型 ・アトピー性皮膚炎 ・気管支喘息に関するデュピクセントの類薬比較 ・生物学的製剤による喘息治療薬の状況
		気管支喘息と治療薬 第7回	・テゼスバイア(テゼベルマブ)
		気管支喘息と治療薬 第8回	・アテキュラ吸入用カプセル(LABA/ICS) ・エナジア吸入用カプセル(LAMA/LABA/ICS)
21	COPDと治療薬	COPDと治療薬 第1回	・COPDの概要・スパイロメトリー・COPDの疫学・COPDの症状・COPDの原因 ・COPDの診断・COPDの病期分類
		COPDと治療薬 第2回	・COPDの検査・COPDの治療・COPDの薬物療法の種類・安定期 COPDの薬物治療・LABA・LABA+ICS・LAMA・スピリーバレスピマット・ジューブリ ・エリクラ
		COPDと治療薬 第3回	・LABA+ICS・レルベア100エリプタ14,30吸入用・LAMA+LABA・アノール エリプタ吸入用・ウルティプロ吸入用カプセル・スピオルト®レスピマット ・増悪期 COPD の薬物療法・COPD Q&A・テルリジー
		COPDと治療薬 第4回	・ビレーズトリ・ビベスピ・COPDのまとめ
22	結核と治療薬	結核と治療薬	・結核の概要 ・疫学 ・病原体 ・臨床症状 ・病原診断 ・治療・予防 ・デルティバ(デラマニド) ・サチュロ(ベダキリン)
23	肺MAC症と治療薬	肺MAC症と治療薬	・肺MAC症とは ・抗酸菌症(結核と非結核性抗酸菌症) ・結核菌と非結核性抗酸菌との違いは? ・非結核性抗酸菌症の症状は? ・MAC(アビウム菌、イントラセラーレ菌)症の治療法は? ・アリケイス(アミカシン リポソーム製剤)
24	新型コロナウイルスとワクチン・治療薬	新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第1回	・新型コロナウイルスについて(対談) ・新型コロナウイルスワクチン ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19) ・コミナティ(トジナメラン)とCOVID-19ワクチンモデルナ筋注 ・バキセゼブリア筋注(AZD1222)
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第2回	・新型コロナウイルスとは何か ・新型コロナウイルスワクチンとは ・実効再生産数 ・PCR検査・抗原検査・抗体検査の違いとは ・ワクチン3剤

		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・コナチン筋注 ・スパイクバックス筋注 ・バキスゼブリア筋注 ・HCVの生活環 ・構造たんぱく質・非構造たんぱく質の役割
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症治療薬 ・ペクルリー(一般名:レムデシビル) ・ラゲプリオ 200mg(一般名:モルヌピラビル) ・ロナプリーブ(一般名:カシリビマブ、イムデビマブ) ・ゼビュディ点滴静注液500mg(一般名:ソトロビマブ)
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株とワクチン ・ヌバキソビッド ・ジェコピデン
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株 ・バキロビッド(ニルマトレルビル/リトナビル) ・エバシエルド筋注セット(チキサゲビマブ/シルガビマブ)
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナとインフルエンザ 最新の感染状況は？ 2023年9月15日 ・支援の見直し ・ラゲプリオ(一般名:モルヌピラビル) ・バキロビッド(一般名:ニルマトレルビル/リトナビル)
		新型コロナウイルスとワクチン・治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・コナチン、スパイクバックス、ダイチロナ
25	乳がんと治療薬	乳がんと治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がんとは・乳がんの発症要因 ・乳がんの検査 ・乳がんの治療法 ・センチネルリンパ節生検
		乳がんと治療薬 第1回-2	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がんと治療薬を俯瞰する
		乳がんと治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床病期と治療 ・乳がんの薬物治療 ・タイプ別治療法 ・乳がんのホルモン療法
		乳がんと治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・エストロゲン阻害薬 ・アロマターゼ阻害薬 ・LH-RHアナログ ・乳がんの化学療法
		乳がんと治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーセプチンとは・ハーセプチンの作用機序 ・ハーセプチンの効能効果・ハーセプチンの用法・用量・HER2とは ・HER2検査の評価法・ハーセプチン臨床成績 ・エンハーツ(一般名:トラスツマブ デルクステカン(DS-8201)の作用機序・特徴
		乳がんと治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・カドサイラ(一般名:トラスツマブエムタンシン) ・タイケルブ(一般名:ラパチニブ) ・イブランス(一般名:バルボシクリブ)
		乳がんと治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・イブランス(一般名:バルボシクリブ) 続き ・フェンロテックス(一般名:フルベストラント)
		乳がんと治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ページニオ(一般名:アベマシクリブ)・乳がん治療薬の最近の開発状況 ・遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)について・オラパリブ ・BRCA1,2のコンパニオン診断 ・BRCA1とDNA損傷応答
		乳がんと治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・PARP阻害剤 リムパーザ (一般名:オラパリブ) ・HBOC ・BRCA1/2 ・PARP阻害薬リムパーザの作用機序
		乳がんと治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がんとオラパリブ ・乳がんの治療 ・リムパーザ(一般名:オラパリブ)の作用機序 ・オラパリブに関するQ&A
		乳がんと治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・パージェタ(一般名:ペリツマブ)
		乳がんと治療薬 第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん治療薬開発状況
		乳がんと治療薬 第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・フェスゴ(一般名:ペルツマブ/トラスツマブ)
		乳がんと治療薬 第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゼナ(一般名:タラゾパリブ)
26	胃がんと治療薬	胃がんと治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・胃の働き・胃がんとは ・胃がんの症状 ・胃がんの疫学 ・ヘリコバクターと胃がん
		胃がんと治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコバクターピロリ・除菌・タケキャブ ・胃がんの検査 ・胃がんの病期
		胃がんと治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・5-FU(一般名:5-フルオロウラシル) ・フトラフル(一般名:テガフル) ・TS-1(一般名:テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム)
		胃がんと治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼローダ(一般名:カベシタピン)・カンプト、トポテシン(一般名:イリノテカン) ・胃がんの進行度別治療法・胃がんの手術 ・胃がんの化学療法
		胃がんと治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・タキソテル(一般名:ドセタキセル) ・タキソール(一般名:パクリタキセル) ・ユーエフティー(一般名:テガフル・ウラシル)
		胃がんと治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・サイラムザ(一般名:ラムシマブ) ・オブジーボ(一般名:ニボルマブ)胃がんの1次治療で免疫療法が新しいスタンダード ・ハーセプチン(一般名:トラスツマブ)

		胃がんと治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学の胃がん化学療法 ・ニッケイメディカルアンケートに対する意見 ・M期と微小管・チューブリン
27	胃十二指腸潰瘍と治療薬	胃潰瘍・胃炎と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・消化性潰瘍の疫学・胃の構造と働き・消化管運動と胃酸分泌の調節 ・上部消化管出血・胃炎・慢性胃炎 ・薬物療法
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコバクター・ピロリ菌 ・除菌療法 ・胃がんとピロリ菌の関係
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がんとH.Pylori・胃食道逆流症(GERD) ・逆流性食道炎 ・非びらん性胃食道逆流症(NERD)
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・機能性ディスペプシア(FD) ・消化性潰瘍・過敏性腸症候群(IBS) ・FDの治療法・消化性潰瘍
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・消化性潰瘍 続き ・NSAIDs潰瘍 ・Zollinger-Ellison症候群
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・PPI・ネキシウム ・タケロン・PPIの比較 ・タケルダ錠
		胃潰瘍・胃炎と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・タケキャブ ・キャピリン配合錠 ・その他の消化性潰瘍治療薬
28	C型肝炎と治療薬	C型肝炎と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・C型肝炎とは何か・HCVの生活環・構造たんぱく質・非構造たんぱく質の役割 ・真核細胞でのタンパク合成におけるRNAの役割
		C型肝炎と治療薬 第2回	C型肝炎の臨床検査
		C型肝炎と治療薬 第3回	・抗ウイルス療法・画期的新薬の登場・ソバルディ・ハーボニー
		C型肝炎と治療薬 第4回	・ヴィキラックス・マビレット
29	肝細胞癌と治療薬	肝細胞がん治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・肝臓について・肝臓がんとは・肝臓がんの症状・肝臓がんの組織型分類 ・関連する疾患・統計・発生要因・予防と検診・肝臓がんの検査・検査の種類 ・病期と治療の選択・手術 ・その他の治療法
		肝細胞がん治療薬 第1回-2	肝細胞がんの治療を俯瞰する
		肝細胞がん治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ネクサバル・レンビマ・薬物療法 ・放射線治療・緩和ケア ・転移、再発
		肝細胞がん治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・サイラムザ ・スチバーガ ・カボザンチニブ
30	膵臓癌と治療薬	膵臓がん治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・膵臓の構造・膵がんの疫学・膵がんの症状 ・膵がんの検査と診断・膵がんの病期 ・膵がんの治療法 ・オニパイド(一般名:イリノテカン リポソーム)
		膵臓がん治療薬 第1回-2	膵臓がん治療薬を俯瞰する・・・内科
		膵臓がん治療薬 第1回-3	膵臓がん治療薬を俯瞰する・・・外科
		膵臓がん治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・TS-1(一般名:テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム) ・アブラキサン点滴静注用100mg(一般名:ナノアルブミン化バクリタキセル) ・ジェムザール注射用200mg,1g(一般名:ゲムシタピン塩酸塩) ・タルセバ錠(一般名:エルロチニブ)
31	大腸がん治療薬	大腸がん治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がんとは ・大腸がんの症状 ・大腸がんの疫学 ・術後補助化学療法 ・大腸がんの抗がん剤治療の変遷
		大腸がん治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・5-FU(一般名:フルオロウラシル)・フトラフル(一般名:テガフル) ・TS-1(テガフル+ギメラシル+オテラシルカリウム)・アイソボリン(一般名:レボホリナート)・ロイコボリン(一般名:ホリナート) ・カンプト、トポテシン(一般名:イリノテカン)
		大腸がん治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・トポテシン ・カンプト ・エルプラット ・FOLFOX ・mFOLFOX6
		大腸がん治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・FOLFOX ・FOLFOX療法とXELOX療法 ・XELOX療法・ゼローダ(一般名:カペシタピン) ・エルプラット(一般名:オキサリプラチン) ・SOX療法
		大腸がん治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・EGFR阻害剤・アービタックス(一般名:セツキシマブ) ・ベクティビックス(一般名:パニツムマブ) ・スチバーガ(一般名:レゴラフェニブ)・血管新生阻害剤(抗VEGF阻害剤) ・KRAS遺伝子変異を調べて効く効かないを判断する ・KRAS阻害薬sotorasib実用化へ
		大腸がん治療薬 第6回	・アバステン(一般名:ペバシズマブ)

		大腸がん治療薬 第7回	・サイラムザ(一般名:ラムシルマブ) ・ザルトラップ(一般名:アフリベルセプト) ・ロンサーフ(一般名:トリフルリジン/チピラシル)
		大腸がん治療薬 第8回	・パージェタ
		大腸がん治療薬 第9回	・フェスコ(一般名:ペルツズマブ/トラスツズマブ)
32	潰瘍性大腸炎と治療薬	潰瘍性大腸炎・クローン病・過敏性腸症候群と治療薬 第1回	・潰瘍性大腸炎 動画・炎症性腸疾患(IBD)とは何か・潰瘍性大腸炎とは何か・潰瘍性大腸炎の疫学 ・潰瘍性大腸炎の発生機序・潰瘍性大腸炎の症状・潰瘍性大腸炎の診断・潰瘍性大腸炎の治療 ・エンタイビオ(一般名:ペドリスマブ)・エンタイビオ(ペドリスマブ)の皮下注製剤の適応症に「クローン病の維持療法」
		潰瘍性大腸炎・クローン病・過敏性腸症候群と治療薬 第2回	・エンタイビオと潰瘍性大腸炎の復習・レクタブル・ゼルヤンツ・クローン病と治療・クローン病とは何か 動画・クローン病の疫学・クローン病と潰瘍性大腸炎の違い・クローン病と潰瘍性大腸炎の検査・診断・クローン病と潰瘍性大腸炎の治療2、エンタイビオ(ペドリスマブ)の皮下注製剤の適応症に「クローン病の維持療法」
		潰瘍性大腸炎・クローン病・過敏性腸症候群と治療薬 第3回	・クローン病の治療・ステララ(ウステキスマブ)・潰瘍性大腸炎治療薬の進歩で焦点は寛解後に
		潰瘍性大腸炎・クローン病・過敏性腸症候群と治療薬 第4回	・過敏性腸症候群 IBS とは・過敏性腸症候群の治療・便秘症と新薬・アミティーザ ・リンゼス・モビコール配合内用剤・グーフイス(エロピキシパット)・ラグノスNF経口ゼリー
		潰瘍性大腸炎・クローン病・過敏性腸症候群と治療薬 第4回-2	モビコール配合内用剤(マクロゴール)の作用機序 類薬との比較/違い 【便秘症】
		潰瘍性大腸炎と治療薬 第5回	カログラ(カロテグラスト)・オンポー(一般名:ミリキズマブ)
		潰瘍性大腸炎と治療薬 第6回	コレチメント(一般名:ブテソニド) レクタブルとの違い
33	慢性腎臓病と治療薬	慢性腎臓病と治療薬 第1回	1.腎臓の構造と働き
		慢性腎臓病と治療薬 第2回	2.腎臓の構造3.腎臓の障害
		慢性腎臓病と治療薬 第3回	3.腎臓の障害
		慢性腎臓病と治療薬 第4回	4.慢性腎臓病の原因疾患5.慢性腎臓病(CKD)の症状6.慢性腎臓病の治療
		慢性腎臓病と治療薬 第5回	・ケレンディア ・ミネプロ
		慢性腎臓病と治療薬 第6回	フォゼベル(一般名:テナパノル) 【高リン血症】
34	腎性貧血と治療薬	腎性貧血と治療薬 第1回	・腎性貧血とは・エリスロポエチンの作用機序・エリスロポエチンの構造式・エポエチン α ・・・ 協和発酵キリン エポエチン β ・・・ 中外製薬 ・ダルベポエチン α 「ネスプ」・・・ 協和発酵キリン・エポエチン β ベゴル「ミルセラ」・・・ 中外製薬 ・エリスロポエチン製剤の構造比較
		腎性貧血と治療薬 第2回	・ネスプ・ネスプの製品特性・なぜシアル酸残基を増やしたか・エポエチンベータベゴル・ネスプにバイオシミラーの登場
		腎性貧血と治療薬 第3回	・HIF、PHD、ユビキチン化、プロテアソームのメカニズム・エベレンゾ
		腎性貧血と治療薬 第4回	・HIF活性化薬概観 復習・HIF活性化薬には、ESAをしのぐメリットをもたらす可能性・腎性貧血治療薬 レッドオーシャンの様相・・・ネスプAG発売、HIF-PH阻害薬も年内登場・PHD阻害薬とEPO製剤の違い
		腎性貧血と治療薬 第5回	・バフセオ錠・ダーブブロック錠・ダーブブロックとバフセオとの違い・代謝・相互作用・エナロイ錠・マスーレッド錠
35	クッシング症候群と治療薬	クッシング症候群と治療薬	・クッシング症候群の概略 ・クッシング症候群の中にクッシング病がある ・クッシング症候群の原因 ・クッシング症候群の症状 ・クッシング症候群の疫学
36	褐色細胞腫と治療薬	褐色細胞腫と治療薬	・褐色細胞腫とは ・デムサー(メテロシン)
37	腎細胞がん治療薬	腎細胞がん治療薬 第1回	・腎細胞がんとは・オブジーボ(一般名:ニボルマブ) ・スーテント(一般名:スニチニブリンゴ酸塩)・パベンチオ(一般名:アベルマブ)・キイトルーダ(一般名: ペムブロリズマブ)
		腎細胞がん治療薬 第1回-2	腎細胞がんの最新治療を俯瞰する
		腎細胞がん治療薬 第2回	・インライタ(一般名:アキシチニブ) ・アフィニール(一般名:エペロリムス) ・ヴォトリエント(一般名:パゾパニブ) ・カボメテイクス(一般名:カボザンチニブ)

38	痛風・高尿酸血症と治療薬	痛風・高尿酸血症と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> ・高尿酸血症とは ・痛風概要 ・原因 ・症状 ・検査・診断 ・治療 ・ユリス(ドチヌラド) ・ユリノーム(ペンズプロマロン) ・フェブリク(フェブキソスタット)
39	過活動膀胱と治療薬	過活動膀胱と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> ・過活動膀胱とは ・症状と原因 ・治療 ・ボツニルス療法とは ・ベタニス ・ベオーバ
40	前立腺癌と治療薬	前立腺がん治療薬 第1回	1.前立腺がんとは2.前立腺がんの疫学3.前立腺がんの検査4.前立腺がんの進行度・悪性度
		前立腺がん治療薬 第2回	5.前立腺がんの治療法 6.手術の適応 7.放射線療法
		前立腺がん治療薬 第3回	8.前立腺がんの薬物療法・ホルモン療法・前立腺がんの薬物療法・・・ホルモン療法 ・リュープリン・ゴナックス・カゾデックス
		前立腺がん治療薬 第4回	・去勢抵抗性前立腺癌とはなぜ去勢抵抗性前立腺癌になってしまうのか・去勢抵抗性前立腺癌の新薬 ・カバジタキセルの登場・男性ホルモンの合成を阻害するザイティガ(一般名:アピラテロン) ・男性ホルモンの受容体を阻害するイクスタンジ(一般名:エンザルタミド)・イクスタンジ(一般名:エンザルタミド)・ザイティガ(一般名:アピラテロン)・ジェブタナ(一般名:カバジタキセル)
		前立腺がん治療薬 第5回	・イクスタンジ(一般名:エンザルタミド)・ザイティガ(一般名:アピラテロン)・ジェブタナ(一般名:カバジタキセル)
		前立腺がん治療薬 第6回	・アーリーダ(一般名:アパルタミド)・ニューベクオ(一般名:ダロルタミド)
		前立腺がん治療薬 第7回	・去勢抵抗性前立腺癌の新薬3剤の比較 ザイティガ(一般名:アピラテロン)イクスタンジ(一般名:エンザルタミド)ジェブタナ(一般名:カバジタキセル)・骨転移の治療薬
		前立腺がん治療薬 第8回	リムバーザ(オラパリブ)「BRCA 遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌」について、ザイティガ(一般名:アピラテロン)との併用療法
		前立腺がん治療薬 第9回	ターゼナ(一般名:タラゾパリブ)
41	前立腺肥大症と治療薬	前立腺肥大症と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> ・前立腺肥大症とは ・PDE5阻害薬・・・ザルティア(一般名:タダラフィル) ・アルファ受容体遮断薬・・・ハルナール(一般名:タムスロシン) ・5α還元酵素阻害薬・・・デュタステリド ・抗アンドロゲン薬・・・プロスタール(一般名:クロルマジノン酢酸エステル)
42	子宮内膜症と治療薬	子宮内膜症・子宮筋腫と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・視床下部と脳下垂体 ・女性ホルモンの分泌の仕組み
		子宮内膜症・子宮筋腫と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・エストロゲンとプロゲステロン・主席卵細胞・子宮内膜症・子宮筋腫 ・子宮内膜症の治療・薬物治療 ・LH-RH アナログ ・リュープリン
		子宮内膜症・子宮筋腫と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・プロゲステン・ディナゲスト(一般名:ジェノゲスト)・ダナゾール・デュファストン・ジェノゲストとデュファストンの違い・LEP療法 ・手術療法・レルミナ(一般名:レルゴリクス)
43	骨粗鬆症と治療薬	骨粗鬆症と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨粗鬆症とは何か・骨粗鬆症が起こる理由と原因・原発性骨粗鬆症と続発性骨粗鬆症・骨粗鬆症の要因 ・骨粗鬆症の診断・骨の強さは「骨密度」+「骨質」・骨の新陳代謝・骨粗しょう症における骨量とホルモン
		骨粗鬆症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨粗鬆症の予後・骨粗鬆症の疫学・骨のリモデリング・骨密度の測定・骨粗鬆症の治療
		骨粗鬆症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨代謝マーカーの役割・骨強度の危険因子:低骨量と高代謝回転・骨の構造・骨の架橋・骨代謝回転 ・骨吸収マーカー
		骨粗鬆症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨吸収マーカー・骨形成マーカー・骨代謝マーカーの活用
		骨粗鬆症と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨代謝マーカーの活用
		骨粗鬆症と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ビスホスホネート製剤とは何か・エチドロネート・・・ダイドロネール錠200・アレンドロネート・・・フォサマック ・ボナロン・イバンドロネート・・・ボンビバ・リセドロネート・・・ベネット・アクトネル・ミノドロネート・・・ボノテオ・リカルボン・ゾレドロネート・・・リクラスト
		骨粗鬆症と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ビスホスホネート・ボンビバ (一般名:イバンドロン酸ナトリウム水和物)・ゾメタ (一般名:ゾレドロネ酸) ・リクラスト (一般名:ゾレドロネ酸) ヒトLANKL抗体・ブラリア皮下注(一般名:デノスマブ)
		骨粗鬆症と治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・関節リウマチとデノスマブ ブラリア皮下注 ・選択的エストロゲン受容体調節薬 SERM エピスタ ビビアント
		骨粗鬆症と治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・骨形成促進薬 テリパラチド ・フォルテオ ・テリボン・オスタバロ
		骨粗鬆症と治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・イベニティー(一般名:ロモソズマブ)・抗体医薬イベニティーの登場で市場はどう変わる・セマフォリン 3A ・ビタミンD3,ビタミンK2・エルシトニン・カテプシン K 阻害薬

		骨粗鬆症と治療薬 第11回	<ul style="list-style-type: none"> 骨粗鬆症治療のまとめ ブラリア ランマーク リクラスト ソメタ PTH製剤一覧:オスタバロ・テリボン・フォルテオ
44	白血病と治療薬	白血病と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 急性骨髄性白血病とは何か 急性骨髄性白血病の症状 急性骨髄性白血病の治療 造血幹細胞移植
		白血病と治療薬 第1回-2	急性骨髄性白血病の基礎
		白血病と治療薬 第1回-3	急性骨髄性白血病の基礎
		白血病と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> マイロターゲ (一般名:ゲムツズマブオゾガマイシン) ゾスパタ(一般名:ギルテリチニブマリン酸塩) ヴァンフリタ(一般名:ギザルチニブ塩酸塩)
		白血病と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 急性前骨髄性白血病 APL M3 急性前骨髄球性白血病 (APL) 骨髄異型性症候群 MDS
		白血病と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 慢性骨髄性白血病とは何か 原因 フィラデルフィア染色体・病期・症状 検査
		白血病と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> 慢性骨髄性白血病の治療 グリベック(一般名:イマチニブ)
		白血病と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> 慢性骨髄性白血病(急性リンパ性白血病)の治療薬 グリベック100mg(一般名:イマチニブ) タシグナcap 50,100,150mg(一般名:ニロチニブ) スプリセル錠20,50mg(一般名:ダサチニブ) ボシユリフ錠100mg(一般名:ボスチニブ)
		白血病と治療薬 第6回-2	<ul style="list-style-type: none"> セムブリックス アイクルシグ
		白血病と治療薬 第6回-3	慢性骨髄性白血病の基礎
		白血病と治療薬 第7回	急性リンパ性白血病の治療
		白血病と治療薬 第7回-2	急性リンパ性白血病の基礎
		白血病と治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> 慢性リンパ性白血病とは・慢性リンパ性白血病の症状 慢性リンパ性白血病の治療・白血病の治療薬 キロサイド(一般名:シタラビン)・サンラビン(エノシタビン) ロイケリン(メルカプトプリン)・ダウノマイシン(ダウノルビシン) イダマイシン(イダルビシン)・アクラシノン(アクリルビシン)
		白血病と治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> 成人T細胞白血病/リンパ腫 (adult T-cell leukemia/lymphoma, ATLL) 急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫とは 急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫の症状 急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫の原因
		白血病と治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> 急性リンパ性白血病の治療薬 ベスボンサ ビーリンサイト 二重特異性抗体 (BiTE抗体) 慢性リンパ性白血病の治療薬 フルダラ イムビルピカ
		白血病と治療薬 第10回-2	オンキヤスパ(一般名:ペグアスバルガーゼ)
		白血病と治療薬 第11回	<ul style="list-style-type: none"> 慢性リンパ性白血病の治療薬 リツキサン ベネクレクスタ カルケンス 骨髄異形成症候群 ビダーザ
		白血病と治療薬 第11回-2	コピクトラ
		白血病と治療薬 第12回	急性リンパ性白血病、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫とCAR-T療法 キムリア点滴静注(一般名:チサゲンレクルユーセル) CAR-T療法とは何か
45	悪性リンパ腫と治療薬	悪性リンパ腫と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 血液のがんにはどんながんがあるか 白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫の違いは・悪性リンパ腫とは 悪性リンパ腫の疫学 悪性リンパ腫の原因 悪性リンパ腫の症状
		悪性リンパ腫と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 悪性リンパ腫の分類・悪性リンパ腫の病型分類 非ホジキンリンパ腫の進行速度による分類・悪性リンパ腫の病期分類 悪性リンパ腫の検査 悪性リンパ腫の概要
		悪性リンパ腫と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 悪性リンパ腫の治療 ホジキンリンパ腫の治療方針 非ホジキンリンパ腫の治療方針
		悪性リンパ腫と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 国立がんセンターにおける治療・限局期ホジキンリンパ腫の治療方針 進行期ホジキンリンパ腫の治療方針 ホジキンリンパ腫に対する新たな治療薬 アドセトリスによるホジキンリンパ腫の治療
		悪性リンパ腫と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> 非ホジキンリンパ腫の治療・限局期びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 進行期びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫・びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の課題・若年 高リスクに対する治療方針 リツキサン(一般名:リツキシマブ)
		悪性リンパ腫と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> 濾胞性リンパ腫・限局期濾胞性リンパ腫の治療方針 進行期濾胞性リンパ腫の治療方針 トレアキシチン(一般名:ペンダムステン) セヴァリンインジウム(一般名:イブリツモマブ チウキセタン)

		悪性リンパ腫と治療薬 第7回	・T細胞性リンパ腫について ・ボテリジオ(一般名:モガリズマブ)・抗体の働き 復習 ・ボテリジェント抗体の構造と作用機序 ・イストダックス(一般名:ロミデプシン)・T細胞性リンパ腫について ・ボテリジオ(一般名:モガリズマブ)・抗体の働き 復習
		悪性リンパ腫と治療薬 第8回	・ガザイバGAZYVA(一般名:オビヌツズマブ) ・ベルケイド(一般名:ボルテゾミブ)
		悪性リンパ腫と治療薬 第9回	・ベレキシブル錠80mg(一般名:チラブルチニブ) ・タズベリク錠 200mg(一般名:タゼメスタット)
		悪性リンパ腫と治療薬 第10回	イェスカルタ
		悪性リンパ腫と治療薬 第11回	ブレヤンジ ポライビー(ボラツズマブ ベドチン)
		悪性リンパ腫と治療薬 第12回	ハイヤスタ タズベリク
		悪性リンパ腫と治療薬 第13回	ダルビアス(ダリナパルシン)
		悪性リンパ腫と治療薬 第14回	エザルミア(バレメスタット) 成人T細胞白血病リンパ腫
		悪性リンパ腫と治療薬 第15回	エプキンリ(一般名:エプコリタマブ)
46	多発性骨髄腫と治療薬	多発性骨髄腫と治療薬 第1回	・多発性骨髄腫とは何か・多発性骨髄腫の概要・造血幹細胞の自家移植・多発性骨髄腫の種類 ・血清遊離軽鎖・多発性骨髄腫の疫学
		多発性骨髄腫と治療薬 第2回	・多発性骨髄腫の発症メカニズム・多発性骨髄腫の症状・多発性骨髄腫の診断時の検査 ・免疫電気泳動法と免疫固定電気泳動法
		多発性骨髄腫と治療薬 第3回	免疫調節薬サレド(一般名:サリドマイド)・レブラミド(一般名:レナリミド) ・ボマリスト(一般名:ボマリドミド)・プロテアソーム阻害薬・ベルケイド(一般名:ボルテゾミブ)
		多発性骨髄腫と治療薬 第4回	・HDAC(ヒストン脱アセチル化酵素)阻害薬・ファリーダック(一般名:パノビノスタット)
		多発性骨髄腫と治療薬 第5回	プロテアソーム阻害薬・カイブロリス(一般名:カルフィゾミブ)・ニンテラロ(一般名:イキサゾミブ) 抗体医薬 エムプリシチ(一般名:エロツズマブ)・ダラザレックス(一般名:ダラツムマブ)
		多発性骨髄腫と治療薬 第6回	アベクマ(イデカブタジェン ピクルユーセル) ダラキューロ配合皮下注 (ダラツムマブ/ボルヒアルロニダーゼ) サークリサ(イサツキシマブ)
		多発性骨髄腫と治療薬 第7回	・カーピクティ(シルタカブタゲン オートルユーセル) ・PTH製剤一覧:オスタバロ・テリボン・フォルテオ
		多発性骨髄腫と治療薬 第8回 第1部	薬剤の使い方 プロテアソーム阻害薬と免疫調節薬(レブラミド)を組み合わせた使い方 VRD KRD IRD
		多発性骨髄腫と治療薬 第8回 第2部	薬剤の使い方 併用で用いるダラザレックスの使用法 Dara-VMP Dara-RD Dara-VD Dara-KD
		多発性骨髄腫と治療薬 第8回 第3部	薬剤の使い方 レブラミドやベルケイドに抵抗性を示す骨髄腫の患者さんに対するボマリストを併用した治療 VPD Elo-PD Isa-PD
		多発性骨髄腫と治療薬 第8回 第4部	薬剤の使い方 単剤(+デキサメサゾン)で用いる薬剤 プロテアソーム阻害薬 免疫調節薬 維持療法、継続維持療法の使分けの ポイント KD療法
47	血友病と治療薬	血友病と治療薬 第1回	・止血のメカニズム・血友病とは・ヘムライブラ・ジビー・バイスベシフィック
		血友病と治療薬 第2回	・オルプロリスク静注用 ・イスパクトロ・レフィキシア(ノナコグ ベータベゴル) ・血友病治療薬の開発状況・ヘムジェニックス
		血友病と治療薬 第3回	オルツビーオ(一般名:エファネソクトコグ) アレモ(一般名:コンシズマブ)
48	関節リウマチと治療薬	関節リウマチと治療薬 第1回	・関節リウマチとは何か・関節リウマチの病態・RFリウマトイド因子とは・抗CCP抗体 ACPAとは ・HLA-DR のSEとは・RAの病態
		関節リウマチと治療薬 第2回	・RAの病態・関節リウマチの疾患の概要・関節リウマチの治療の考え方 ・関節リウマチ発症の概要
		関節リウマチと治療薬 第3回	・遺伝的要因・環境要因

		関節リウマチと治療薬 第4回	・シトルリン化蛋白とACPA・喫煙と歯周病によるACPAの産生
		関節リウマチと治療薬 第5回	・リウマチの病理と自己抗体ACPA・シトルリン化蛋白とACPA
		関節リウマチと治療薬 第6回	・シトルリン化蛋白とACPA ・リウマトイド因子RFとは何か・MMP-3(マトリックスメタロプロティナーゼ 3) ・ 関節リウマチにおける骨破壊とTh17細胞・関節リウマチにおける骨破壊のメカニズム
		関節リウマチと治療薬 第7回	関節リウマチの臨床検査 その1 ・抗CCP抗体・感度と特異度・RF リウマトイド因子 (RF: rheumatoid factor)
		関節リウマチと治療薬 第8回	関節リウマチの臨床検査 その2 ・CA-RF・抗核抗体・MMP-3・赤沈・CRP・関節エコー
		関節リウマチと治療薬 第9回	関節リウマチの診断 その1・新分類基準・活動性の評価とは・DAS28とは・GDAIとSDAI・構造・関節破壊評価(画像)・mTSS
		関節リウマチと治療薬 第10回	関節リウマチの診断 その2・機能評価とは・HAQ・臨床評価・薬効評価・ACR20コアセット・新寛解基準 ・関節リウマチの治療目標・T2Tとは何か
		関節リウマチと治療薬 第11回	・DMARDsとは何か・関節リウマチの治療・レミケード・リウマトレックス
		関節リウマチと治療薬 第12回	・エンブレル(一般名:エタネルセプト)・エンブレルの作用機序・エンブレルの特徴・エンブレルの臨床成績・エンブレルのバイオシミラー
		関節リウマチと治療薬 第13回	・ヒュミラ(アダリムマブ)・関節リウマチという病気の仕組み・TNF α と関節リウマチ・ヒュミラの特徴 ・ヒュミラの治療学的・製剤学的特性・完全ヒト型抗体の作成・ヒュミラの作用機序・ヒュミラの投与方法・ヒュミラの臨床成績・ヒュミラのバイオシミラー
		関節リウマチと治療薬 第14回	・IL-6受容体拮抗薬・・・アクテムラ(トシリズマブ)・アクテムラの製品特性と投与方法 ・アクテムラの作用機序・関節リウマチとIL-6・アクテムラの特徴・臨床成績
		関節リウマチと治療薬 第15回	・ケブサラ(サリルマブ)・ケブサラの作用機序 ・ケブサラの薬価・ケブサラとアクテムラの違い・ケブサラの動画・ケブサラの臨床試験
		関節リウマチと治療薬 第16回	・シンボニー(ゴリムマブ)・シムジア(セトリズマブ・ペゴル)・現在使っている生物学的製剤の効果が不十分の場合どうするか・生物学的製剤の使い分け
		関節リウマチと治療薬 第17回	JAK阻害薬・ゼルヤンツ(トファシチニブ)
		関節リウマチと治療薬 第18回	JAK阻害薬その2・オルミエント(バリシチニブ)・スマイラフ(ペフィシチニブ)・リンヴォック(ウバダシチニブ)
		関節リウマチと治療薬 第19回	・リウマトレックス(一般名:メトレキサート)・プログラフ(一般名:タクロリムス)・ケアラム、コルベット(一般名:イグラチモド)・アザルフィジンEN(一般名:サラソスルファピリジン)・リマチル(一般名:ブシラミン)
		関節リウマチと治療薬 第20回	・DMARDの使い方・生物学的製剤8剤の比較・生物学的製剤の副作用・関節リウマチ薬の市場は今 バイオシミラー
		関節リウマチと治療薬 第21回	ナノゾラ(一般名:オゾラリズマブ)
		関節リウマチと治療薬 第22回	メジエクト皮下注(一般名:メトレキサート)
49	変形性関節症と治療薬	変形性関節症と治療薬	・変形性関節症とは ・変形性膝関節症の患者数 ・変形性関節症のメカニズム ・変形性関節症の診断 ・症状 ・原因と病態 ・診断 ・予防と治療 ・変形性膝関節症 ・関節リウマチと違う点 ・ジョイクル関節注(一般名:ジクロフェナク結合ヒアルロン酸)
50	神経障害性疼痛と治療薬	神経障害性疼痛と治療薬 第1回	・神経障害性疼痛とは ・リリカ(一般名:プレガバリン) ・タリージェ(一般名:ミロガバリン)
		神経障害性疼痛と治療薬 第2回	・サインバルタ(一般名:デュロキセチン) ・トリプタノール(一般名:アミトリプチン) ・ガバペン(一般名:ガバペンチン) ・テグレートール(一般名:カルバマゼピン) ・トラムセツト配合錠(一般名:トラマドール・アセトアミノフェン) ・オピオイド ・セレコックス(一般名:セレコキシブ)
51	全身性エリトマテースと治療薬	全身性エリトマテースと治療薬 第1回	・膠原病とは何か ・全身性エリトマテース(Systemic lupus erythematosus; SLE) ・全身性エリトマテースの疫学・全身性エリトマテースの原因 ・全身性エリトマテースの症状・全身性エリトマテースの診断 ・全身性エリトマテースの検査・全身性エリトマテースの治療法

		全身性エリトマートーデスと治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 全身性エリトマートーデスの症状 全身性エリトマートーデスの診断 全身性エリトマートーデスの検査 全身性エリトマートーデスの治療法
		全身性エリトマートーデスと治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 全身性エリトマートーデスの治療 シェーグレン症候群
		全身性エリトマートーデスと治療薬 第4回	・ベンリスタ(一般名:ペリプマブ)
		全身性エリトマートーデスと治療薬 第5回	サフネロー
52	帯状疱疹と治療薬	帯状疱疹と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> 帯状疱疹の症状 帯状疱疹の原因 帯状疱疹の合併症と後遺症 帯状疱疹の治療 帯状疱疹を予防する 帯状疱疹Q&A 帯状疱疹 その2 帯状疱疹 その3
		帯状疱疹と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> アメナリーフ(一般名:アメナメビル) ファムビル(一般名:ファムシクロビル)
53	乾癬と治療薬	乾癬と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 乾癬とは何か・続々と新薬登場・ルミセフ皮下注・トルツ皮下注・オテズラ錠・トテムフィア皮下注・乾癬とは何か 乾癬の種類・乾癬の発症機序と皮膚の構造・乾癬について
		乾癬と治療薬 第2回	・乾癬の検査・乾癬の種類・症状・治療・乾癬の治療法・ネオラール
		乾癬と治療薬 第3回	生物学的製剤・レミケード(一般名:インフリキシマブ)・ヒュミラ(一般名:アダリムマブ)・ステララー(一般名:ウスチキヌマブ)・コセンティクス(一般名:セクキヌマブ)
		乾癬と治療薬 第4回	・ルミセフ(一般名:プロダルマブ)・トテムフィア(一般名:グセルクマブ)・スキリージ(一般名:リサンキヌマブ)
		乾癬と治療薬 第5回	・オテズラ錠(一般名:アプレミラスト)・トルツ(一般名:イクセキヌマブ)・シムジア(一般名:セトリズマブペゴル)
		乾癬と治療薬 第6回	・乾癬治療薬の市場動向
		乾癬と治療薬 第7回	・ピンゼレックス皮下注(ビメキヌマブ)
		乾癬と治療薬 第8回	生物学的製剤の一覧と作用機序/特徴のまとめ
		乾癬と治療薬 第9回	スベピゴ(一般名:スベソリマブ)【膿疱性乾癬】 ソーテイクツ(一般名:デュークラバシチニブ)
54	アトピー性皮膚炎と治療薬	アトピー性皮膚炎と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> アトピー性皮膚炎とは何か アトピー性皮膚炎の原因
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> アトピー性皮膚炎の特徴・アトピー性疾患の診断と検査 アトピー性皮膚炎に伴う疾患・アトピー性皮膚炎の治療・EASIとは フィラグリンとは
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> アイビーデー プロトピック軟膏・ネオラール リザベン・デュピクセント
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> フィラグリンとデュピクセント コレクテウム軟膏(一般名:デルゴシチニブ) アトピー性皮膚炎治療薬の市場動向
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第4回-2	<ul style="list-style-type: none"> デュピクセント(デュピルマブ) 【アトピー性皮膚炎/気管支喘息/副鼻腔炎】
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> サイバインコ モイゼルト軟膏(ジファミラスト)
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第6回	・ミチーガ皮下注(一般名:ネモリズマブ)
		アトピー性皮膚炎と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> アドラーザ皮下注(一般名:トラロキヌマブ) イブグリース(一般名:レプリキヌマブ)
55	爪白癬と治療薬	爪白癬と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> 爪白癬とは ネイリン(一般名:ホスラブコナゾール) ルコナック(一般名:ルリコナゾール)
56	ファブリー病と治療薬	ファブリー病と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> ファブリー病とは何か ファブラザイム(アガルシダーゼ) ガラフォルド(ミガーラスタット)
57	HIVと治療薬	HIVと治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> HIVとエイズについて ドゥペイド配合錠
		HIVと治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ビフェルトロ ビクタルビ配合錠 デビケイ ジャルカ配合錠 シムツォ配合錠
		HIVと治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ボカプリア水懸筋注(一般名:カボテグラビルナトリウム) リカムビス水懸筋注(一般名:リルビピリン)
		HIVと治療薬 第4回	・シュンレンカ皮下注/錠(一般名:レナカパビル)
58	高血圧と治療薬	高血圧と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 血圧を調節する仕組み 血圧の調整
		高血圧と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 昇圧のメカニズム 主な昇圧系 主な降圧系 高血圧の病態
		高血圧と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 本態性高血圧の成因・2次性高血圧を呈する原因疾患 高血圧と日内変動・高血圧の他臓器への影響 高血圧と臓器障害の合併 脳血管疾患 心疾患 腎疾患

		高血圧と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 血管疾患・高血圧の検査 高血圧の診断 動脈硬化の非観血的診断法 高血圧治療の基本方針
		高血圧と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> 血圧値の分類と危険因子の評価 治療対象と降圧目標・高血圧の治療 I 生活習慣の修正 高血圧の疫学・日本人の高血圧の特徴と問題点
		高血圧と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧の治療 II 降圧治療薬・第一選択薬と現在使用されている降圧薬・T/P比とは何か・原発性アルドステロン症とは？・Ca拮抗薬 (Ca Channel Blocker: CCB)・ARB (アンジオテンシン II Receptor Blocker: アンジオテンシン II 受容体拮抗薬)
		高血圧と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ARB (アンジオテンシン II Receptor Blocker: アンジオテンシン II 受容体拮抗薬)・・・配合剤・ACE阻害薬 (アンジオテンシン変換酵素阻害薬: Angiotensin- Converting Enzyme inhibitor: ACE-I) 利尿薬
		高血圧と治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> β 遮断薬 (α β 遮断薬を含む)・α 遮断薬 アルドステロン拮抗薬・K保持性利尿薬 ミネプロ 各種降圧薬の副作用と薬物相互作用 降圧薬使用の注意点
		高血圧と治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> 臓器障害を合併する高血圧
		高血圧と治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> 他疾患を合併する高血圧・高齢者高血圧 その他の高血圧 ARBの違い 降圧薬には大きく4つの第一選択薬
		高血圧と治療薬 第11回	<ul style="list-style-type: none"> 降圧薬の使い分け
		高血圧と治療薬 第12回	<ul style="list-style-type: none"> ACE阻害薬 利尿薬 β 遮断薬
59	糖尿病と治療薬	糖尿病と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> SU剤・スルホニル尿素(SU)薬とは・SU剤の作用機序・SU剤の二次無効・心血管系に対する作用 低血糖・SU薬をどのように考えるか・現在よく使用されているSU薬・服薬上の注意点
		糖尿病と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ビグアナイド剤 ・ビグアナイド薬とは・ビグアナイドの作用機序
		糖尿病と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> α グルコシダーゼ阻害薬 ・α グルコシダーゼ阻害薬とは・α グルコシダーゼの作用機序 ペイスン・グルコバイ・セイブル
		糖尿病と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> チアゾリジン薬 ・チアゾリジン薬とは・アクトスの作用機序・アクトスの問題点
		糖尿病と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> グリニド系薬 ・グリニド系薬剤とは・ファスティック・スターシス・グルファスト・シュアポスト
		糖尿病と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> DPP-4阻害薬とは・DPP-4阻害薬の作用機序・高血糖に晒されるとなぜβ 細胞は死んでいくのか インクレチンがβ 細胞死を抑制・インクレチンとは・DPP-4阻害薬の働き・ジャヌビア・グラクティブ
		糖尿病と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> エクア(ビルダグリブチン)・・・エクメット・ネシーナ(アログリブチン)・・・イニシク・トラゼンタ(リナグリブチン)・テネリア(テネリグリブチン)・・・スーニー(アナグリブチン)・・・メトアナ・オングリザ(オキサグリブチン)・・・ザファテック(トセラグリブチン)・マリゼブ(オマリグリブチン)・DPP4阻害薬
		糖尿病と治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> GLP-1受容体作動薬とは・バイエッタ皮下注(一般名 エキセナチド)・ピクトーザ皮下注18mg(一般名 リラグルチド)・リスミア皮下注300 μg(一般名 リキシセナチド)
		糖尿病と治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> ピデュリオン皮下注2mg 皮下注2mgペン(一般名 エキセナチド)・トルリ・オゼンピック(一般名;セマグルチド)・リベルサス(経口のセマグルチド)・ソルトファイ配合注(インスリンデグルデク/リラグルチド)・GLP-1受容体作動薬の使い分け
		糖尿病と治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> SGLT2阻害薬とは・SGLT-2阻害薬の作用機序・SGLT-2阻害薬の注意すべき点・SGLT-2阻害薬のまとめ SGLT2阻害薬に新効能! 心・腎保護薬へ・SGLT-2阻害薬をめぐる市場の動き
		糖尿病と治療薬 第11回	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病治療薬 開発競争、一転下火—製薬各社 照準は糖尿病性腎症にシフト SGLT2阻害薬に新効能・・・心・腎保護薬へ・SGLT-2阻害薬をめぐる市場の動き
		糖尿病治療薬 第12回	<ul style="list-style-type: none"> スーグラ(一般名: イブラグリフロジン Lプロリン)・ジャディアンス(一般名: エンバグリフロジン)・カナグル(一般名: カナグリフロジン水和物)・フォシーガ(一般名: ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物)・デベルザ(一般名: トホグリフロジン水和物) ・ルセフィ(一般名: ルセオグリフ
		糖尿病と治療薬 第13回	<ul style="list-style-type: none"> SGLT2阻害薬の位置づけと具体的な使われ方・SGLT-2阻害薬の比較・SGLT-2配合錠
		糖尿病と治療薬 第14回	<ul style="list-style-type: none"> インスリン製剤の種類・インスリン療法・インスリン製剤の歩み・インスリンの分泌機序・インスリンの作用機序
		糖尿病と治療薬 第15回	<ul style="list-style-type: none"> 運動やアディポネクチンはインスリンと関係なく血糖値を下げる・基礎インスリン・追加インスリン・ランタスXRノロスター(インスリンラルギン)
		糖尿病と治療薬 第16回	<ul style="list-style-type: none"> 強化インスリン療法 ソルトファイ配合注フレックスタッチ 糖尿病治療薬の市場動向 イメグリミン(ミトコンドリア機能改善)
		糖尿病と治療薬 第17回	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病発症のメカニズム その1・Diabetes Mellitus とは・糖尿病の疫学・糖尿病の分類・インスリン受容体とは 消化器から吸収された炭水化物は・肝臓におけるグルコースの取り込みは・骨格筋や脂肪細胞でのグルコースの取り込みは・IRSタンパク「インスリン発症のメカニズム その2 ・インスリン抵抗性はどのようにして始まるのか
		糖尿病と治療薬 第18回	<ul style="list-style-type: none"> 加齢と糖尿病の関係は・高インスリン血症が続くと何が起きるか・インスリン抵抗性を示すようになるわけ
		糖尿病と治療薬 第19回	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病発症のメカニズム その3・糖新生・糖尿病の患者では糖新生はどのようにしているのか 糖新生系においてインスリンはどのような役割をしているのか・糖尿病の患者では糖新生が盛んに行われている・ストレスと糖尿病・運動によって糖尿病発症のメカニズム4・肥満と脂肪細胞
		糖尿病と治療薬 第20回	<ul style="list-style-type: none"> 脂肪細胞から遊離される種々の物質・・・遊離脂肪酸(FFA: free fatty acid) 脂肪細胞から遊離される種々の物質・・・TNF α
		糖尿病と治療薬 第21回	<ul style="list-style-type: none"> インスリンの働き その1 ・インスリンとは何か・インスリンの検査
		糖尿病と治療薬 第22回	<ul style="list-style-type: none"> インスリンの働き その2 ・アディポネクチンの働き・TNF αとは何か・インスリン抵抗性の検査・I 型糖尿病の検査・Cペプチドの測定
		糖尿病と治療薬 第23回	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の臨床検査・糖尿病の診断基準・糖尿病の臨床検査・糖尿病が引き起こす慢性合併症

		糖尿病と治療薬 第24回	マンジャロ(一般名:チルゼパチド)
60	脂質異常症と治療薬	脂質異常症と治療薬 第1回	・脂質異常症とは何か ・中性脂肪(トリグリセリド) ・コレステロール
		脂質異常症と治療薬 第2回	・アポ蛋白 リポ蛋白 ・悪玉コレステロールと善玉コレステロール ・血中LDLコレステロールを減らすスタチンの作用
		脂質異常症と治療薬 第3回	・各種スタチン ・脂質異常症のまとめ
		脂質異常症と治療薬 第4回	・リビトール ・リバロ ・クレストール ・ゼチーア
		脂質異常症と治療薬 第5回	・ブラルエント ・パルモディア ・アトーゼット ・ロスーゼット
		脂質異常症と治療薬 第6回	LDLとHDL リバゼブ配合錠(一般名:ピタバスタチン/エゼチミブ) エパディールEM(一般名:イコサペント酸エチル) レバーサ(一般名:エポロクマブ)
		脂質異常症と治療薬 第7回	・レクピオ皮下注(一般名:インクリシラン)
		脂質異常症と治療薬 第8回	・エパディールEM(一般名:イコサペント酸エチル)エパディールとの違い ・リバゼブ配合錠(一般名:ピタバスタチン/エゼチミブ)を新規更新しました。
61	免疫と抗体	免疫と抗体 第1回	・免疫学の歴史・免疫の定義・免疫に関わる細胞たち・自然免疫と獲得免疫とは・細胞間伝達物質…サイトカイン ・JAK-STAT型受容体・インターロイキン・自然免疫…NK細胞・獲得免疫・自然免疫と獲得免疫の相互作用・細胞性免疫と液性免疫・抗体の働き
		免疫と抗体 第2回	・自然免疫・マクロファージ・獲得免疫・自然免疫と獲得免疫の相互作用・抗体の働き・MHCクラス分子とは何か
		免疫と抗体 第3回	MHCクラス分子の抗原提示のメカニズム
		免疫と抗体 第4回	・MHC I の抗原提示の方法・MHC II の抗原提示の方法・MHC II からヘルパーT細胞への抗原提示 ・MHC I からキラーT細胞への抗原提示・ナイーブT細胞(ナイーブヘルパーT細胞、ナイーブキラーT細胞)の活性化
		免疫と抗体 第5回	・免疫細胞はどこで作られるか・T細胞の種類と働き・T細胞の誕生・T細胞の活性化・エフェクターT細胞の機能発揮・ヘルパーT細胞の分化
		免疫と抗体 第6回	・細胞障害性T細胞(CTL:キラーT細胞)が殺傷するまで・ヘルパーT細胞(TH細胞)によるB細胞の活性化 ・T細胞メモリー・細胞性免疫と液性免疫・B細胞とは
		免疫と抗体 第7回	・B細胞の分化・免疫反応における主な細胞間ネットワーク ヘルパーT細胞と抗原提示細胞・リンパとは何か
		免疫と抗体 第8回	・一次リンパ節、二次リンパ節・リンパ節の構造・免疫グロブリン遺伝子の遺伝子再編成 ・体細胞突然変異・クラススイッチ
		免疫と抗体 第9回	・抗体とは・抗体の働き・抗体の構造
		免疫と抗体 第10回	・B細胞受容体・T細胞受容体・T細胞の活性化と B細胞の活性化・B細胞の単クローン的な増殖・抗体のクラス・サイトカインとは・ヘルパーT細胞が分泌するサイトカイン・自然免疫で重要なサイトカイン・様々な機能を持ったエフェクターT細胞への分化・一次免疫応答と二次免疫応答
62	免疫チェックポイント阻害薬	免疫チェックポイント阻害薬 第1回	・がん免疫編集説とは・排除相とがん免疫サイクル・平衡相から逃避相へ ・免疫チェックポイント分子・がん免疫編集説とは ・排除相とがん免疫サイクル ・平衡相から逃避相へ
		免疫チェックポイント阻害薬 第2回	・免疫チェックポイント分子 ・CTLA-4 ・がん免疫サイクル ・免疫チェックポイント阻害薬
		免疫チェックポイント阻害薬 第3回	・オプジーボ・ヤーポイ
		免疫チェックポイント阻害薬 第4回	・キイトルーダ
		免疫チェックポイント阻害薬 第5回	・オプジーボとキイトルーダ ・キイトルーダ(一般名:ペムブロリズマブ) ・悪性黒色腫とは、腎細胞がんとは ・テセントリク(一般名:アテゾリズマブ) ・肺がん、肝細胞癌、乳がん
		免疫チェックポイント阻害薬 第6回	バベンチオ(一般名:アベルマブ) イミフィンジ(一般名:デュルバルマブ) オプジーボ(一般名:ニボルマブ)胃がん食道がん
63	悪性黒色腫と治療薬	悪性黒色腫と治療薬 第1回	・悪性黒色腫とは ・悪性黒色腫の治療の選択 ・ゼルボラフ
		悪性黒色腫と治療薬 第2回	・タフィンラー・メキニスト ・オプジーボ・ヤーポイ ・ピラフトビ・メクトビ
		悪性黒色腫と治療薬 第3回	タフィンラー/メキニストの作用機序【悪性黒色腫/肺がん/臓器横断】 BRAF遺伝子の固形がん(臓器横断的)
64	血栓症と治療薬	血栓症と治療薬 第1回	・抗血栓薬の分類 ・血栓溶解薬と抗血液凝固薬 ・血栓溶解薬 ・抗血小板薬
		血栓症と治療薬 第2回	・抗血栓療法における抗血小板薬と抗凝固薬 ・抗血小板薬 ・新規経口抗凝固薬 NOAC DOAC
		血栓症と治療薬 第3回	・バイアスピリン・プレタール ・チエノピリジン系プラビックス(クロピドグレル) ・エフィエント(一般名:プラスグレル)

		血栓症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 抗凝固薬 抗凝固薬と心房細動 CHADS2スコア NOAC(DOAC) 抗凝固薬 血液凝固因子の働き 内因性凝固因子 外因性凝固因子 PT-INRとは ワーファリン ワーファリンの問題点 ワーファリンのメリット 抗血小板薬
		血栓症と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> エフィエントの作用機序 ブラビックスとエフィエント
		血栓症と治療薬 第6回	<ul style="list-style-type: none"> 抗凝固薬と心房細動・CHADS2スコア NOAC(DOAC) 抗凝固薬・血液凝固因子の働き 内因性凝固因子 外因性凝固因子 PT-INRとは
		血栓症と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> ワーファリン トロンピン阻害薬 プラザキサ(一般名:ダビガトラン) プロテインC プロテインS プラザキサの利点と欠点
		血栓症と治療薬 第8回	<ul style="list-style-type: none"> 凝固系と線溶系 プラザキサの作用機序と特徴P糖蛋白APTTとプラザキサ(一般名:ダビガトラン)アンチトロンピン第Xa因子阻害薬 イグザレルト、エリキュース、リクシアナ
		血栓症と治療薬 第9回	<ul style="list-style-type: none"> イグザレルト(リバーロキサパン) エリキュース(アピキサパン) リクシアナ(エドキサパン) ワーファリン、プラザキサ、エリキュース、イグザレルト、リクシアナの違い
		血栓症と治療薬 第10回	<ul style="list-style-type: none"> DOACのまとめ プリリント(一般名:チカグレロル)
65	感染症と治療薬	感染症と治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 病原細菌の種類と構造・細菌感染症の診断と治療・抗菌薬の作用と特徴・細胞壁と細胞壁合成阻害薬の作用機序 リボソームと蛋白合成・蛋白合成阻害作用を有する抗菌薬の作用機序・核酸合成のプロセスと核酸合成酵素
		感染症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> 細胞壁合成阻害薬・セフェム系抗菌薬・モノバクタム系抗菌薬・カルバペネム系抗菌薬・ホスホマイシン・蛋白合成阻害薬 アミノグリコシド系抗菌薬・マクロライド系抗菌薬・ケトライド系抗菌薬・その他の蛋白合成阻害薬・クロラムフェニコール系、リンコマイシン系・スト
		感染症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> 核酸合成阻害薬・ニューキノロン・リファンピシリン・その他の抗菌薬 細胞膜を傷害する抗菌薬・ポリミキシンB・サルファ剤・ST合剤・メトロニダゾール・抗結核薬・薬剤耐性 抗菌薬適正使用のために・組織移行性と排泄代謝経路・濃度依存性と時
		感染症と治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> 抗菌薬の基礎知識・抗菌薬の作用機序・抗菌薬の種類と特徴
		感染症と治療薬 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ノキサフィル(一般名:ボソコナゾール) クレセンバ(一般名:イサブコナゾニウム)
		感染症と治療薬 第6回	シルガード 子宮頸がんワクチン
		感染症と治療薬 第7回	<ul style="list-style-type: none"> 発熱性好中球減少症 ジーラスタ(一般名:ペグフィルグラスチム)
		感染症と治療薬 第8回	フェトロージャ(一般名:セフィデロコル)
		感染症と治療薬 第9回	シベクトロ(一般名:テジゾリド)
		感染症と治療薬 第10回	レカルプリオ(レレバクタム/イミペネム/シラスタチン)
66	核酸医薬品	核酸医薬品 遺伝子治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> 核酸とは・セントラルドグマ・核酸医薬品とは…核酸医薬品にはどのような医薬品があるか・アンチセンスsiRNA デコイ・アプタマー
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> siRNA,デコイ,アプタマー・脊髄性筋萎縮症(SMA)・SMA治療薬 アンチセンス核酸医薬品 スピンラザ
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> SMAとは・mRNAスプライシング(splicing:つなぎ合わせる)とは・スピンラザ(ヌシネルセン)の作用機序
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第4回	<ul style="list-style-type: none"> スピンラザ(ヌシネルセン) アンチセンス 核酸医薬品・ゾルゲンスマ(オナセムノゲン・アベバルボベク)遺伝子治療薬 コラテジェン遺伝子治療薬・オンパットロ(パチラシン) siRNA 核酸医薬品
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第5回	スピンラザ・ゾルゲンスマ エプリスディ・コテラジェン
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第6回	オンパットロ
		核酸医薬品 遺伝子治療薬 第7回	オンパットロ(一般名:パチラシン)続き
			ビルテプソ(一般名:ビルトラルセン)
67	虚血性心疾患と治療薬	虚血性心疾患と治療薬 第1回	オンデキサ
68	原発性腋窩多汗症と治療薬	原発性腋窩多汗症と治療薬	<ul style="list-style-type: none"> エクロックゲル ラビフォート
69	重症筋無力症と治療薬	重症筋無力症と治療薬 第1回	ウィフガード
	重症筋無力症と治療薬	重症筋無力症と治療薬 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ウイフガード ソリリス
	重症筋無力症と治療薬	重症筋無力症と治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ユルトミリス(ラプリスマブ) ●発作性夜間ヘモグロビン尿症 ●非典型型溶血性尿毒症症候群 ●全身型重症筋無力症(免疫グロブリン大量静注療法又は血液浄化療法による症状の管理が困難な場合に限る) ●視神経脊髄炎スペクトラム障害(視神経脊髄炎を含む)の再発予防

	重症筋無力症と治療薬	重症筋無力症と治療薬 第4回	・リスティーゴ皮下注(一般名:ロザノリキシズマブ) ・ジルビスク皮下注(一般名:ジルコプラン)
	重症筋無力症と治療薬	重症筋無力症と治療薬 第5回	ヒフデラ配合皮下注(一般名:エフガルチギモド/ボルヒアルロニダーゼ)
70	遅発性ジスキネジアと治療薬	遅発性ジスキネジアと治療薬	ジスバル
71	尿路上皮癌と治療薬	尿路上皮がん治療薬	パドセブ
72	慢性咳嗽と治療薬	慢性咳嗽と治療薬	リフヌア(一般名:ゲーファピキサント)
73	トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー(TTR-FAP)と治療薬	・トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー(TTR-FAP)と治療薬 第1回	オンパットロ(一般名:パチシランナトリウム)
		・トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー(TTR-FAP)と治療薬 第2回	ピンマック(一般名:タファミジス) エントレスト(一般名:サクトビトリルバルサルタンナトリウム)
		・トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー(TTR-FAP)と治療薬 第3回	アムヴトラ皮下注(ブトリシラン)
		・トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー(TTR-FAP)と治療薬 第4回	アムヴトラ皮下注(ブトリシラン)その2【TTR-FAP】 ピンマック(タファミジス)の作用機序:ピンダケルとの違い【ATTR-CM】
74	抗がん剤に伴う悪心・嘔吐と治療薬	抗がん剤に伴う悪心・嘔吐と治療薬	アロカリス(ホスネツピタント) プロイメンド(ホスアプレビタント) ジブレキサ(オランザピン)
75	消化管間質腫瘍(GIST)と治療薬	消化管間質腫瘍(GIST)と治療薬	ジェセリ(ピメテスビブ)
76	鉄欠乏性貧血と治療薬	鉄欠乏性貧血と治療薬	モノヴァー(デイルソマルトース第二鉄) フェインジェクト(カルボキシマルトース第二鉄)
77	軟骨無形成症と治療薬	軟骨無形成症と治療薬 第1回	ボックスゾゴ(一般名:ボソリチド)
78	フォンヴィレブランド病と治療薬		フォン・ヴィレブランド病 ボンベンディ(ボニコグ アルファ)
79	後天性血栓性血小板減少性紫斑病と治療薬	後天性血栓性血小板減少性紫斑病と治療薬	後天性血栓性血小板減少性紫斑病 カプリビ(カブラシズマブ)
80	抗体医薬品の製造	抗体医薬品の製造 第1回	・バイオ医薬品とは何か・バイオ医薬品の製造全工程・如何にして抗体遺伝子を取得するか・モノクローナル抗体の取得・モノクローナル抗体・ハイブリドーマの製造による遺伝子の取得・ハイブリドーマの作成・ハイブリドーマから遺伝子取得・抗体ファージディスプレイによる遺伝子の取得
		抗体医薬品の製造 第2回	・免疫原性・免疫原性低減に向けて・抗体の小分子化・キメラ抗体・ヒト化抗体・抗体ファージディスプレイによる完全ヒト型遺伝子の取得・トランスジェニックマウス ゼノマウス・トランスジェニックマウスによる完全ヒト型遺伝子の取得・組み換えたんぱく質生産用細胞株の樹立・プラスミドを使用
		抗体医薬品の製造 第3回	・セルバンクの構築・原薬の製造・細胞分離・分離精製・ウイルス安全性・修飾・濃縮
		抗体医薬品の製造 第4回	・分注・製剤化・品質管理・品質評価・純度試験:・サイズ排除クロマトグラフィー・イオン交換クロマトグラフィー・確認試験:・ペプチドマップ・等電点電気泳動・抗体の糖鎖分析・無菌試験
81	子宮頸がん治療薬	子宮頸がん治療薬 第1回	リプタヨ(一般名:セミプリマブ)
		子宮頸がん治療薬 第2回	【HPVワクチン】 ・シルガード
82	慢性特発性血小板減少性紫斑病と治療薬	慢性特発性血小板減少性紫斑病と治療薬	タバリス(一般名:ホスタマテニブ)
83	手掌多汗症と治療薬	手掌多汗症と治療薬 第1回	アポハイドローション20%(オキシブチニン塩酸塩)
84	肥満症と治療薬	肥満症と治療薬 第1回	ウゴービ皮下注(セマグルチド)
85	発作性夜間ヘモグロビン尿症と治療薬	発作性夜間ヘモグロビン尿症と治療薬 第1回	・エムパベリ皮下注(一般名:ペグセタコプラン) ・ユルトミス(一般名:ラブリズマブ)
86	真性多血症と治療薬	真性多血症と治療薬 第1回	・ベスレミ皮下注(ロペグインターフェロン アルファ-2b)
87	人工妊娠中絶薬	人工妊娠中絶薬 第1回	・メフィーゴバック(ミフェリプリストン/ミソプロストール)
88	円形脱毛症と治療薬	円形脱毛症と治療薬 第1回	・円形脱毛症と治療薬 ・リットフォーロカプセル(一般名:リトシチニブ) ・オルミエント錠(一般名:バリシチニブ)
89	AGA男性型脱毛症と治療薬	AGA男性型脱毛症と治療薬 第1回	・プロペシア(一般名:フィナステリド) ・リアップ(ミノキシジル)
90	胆道がん治療薬	胆道がん治療薬 第1回	・胆道と胆管 ・ペマジール(一般名:ペミガチニブ) ・リトゴビ(一般名:フチバチニブ)
91	RSウイルスと感染症	RSウイルスと感染症 第1回	RSウイルス感染症とは アレックスビー筋注用【RSウイルス感染ワクチン】 パブリズマブ(遺伝子組換え) ベイフォータス(ニルセビマブ)

		RSウイルスと感染症 第2回	アブリスボ筋注
92	卵巣がん治療薬	卵巣がん治療薬 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・卵巣がんの患者数 ・卵巣がんとは ・卵巣がんの症状 ・卵巣がん 卵管がん ・原因 ・検査 ・卵巣がんの分類 ・卵巣がんの性質 ・卵巣がんの治療
		卵巣がん治療薬 第2回	・リムパーザ(一般名:オラパリブ)
		卵巣がん治療薬 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼジュラ(一般名:ニラパリブ)卵巣がん) ・リムパーザとの違い【卵巣がん】
		卵巣がん治療薬 第4回	まとめ 癌研究会 有明病院 婦人科 副医長 阿部彰子